一般質問

三議員が町政を問う

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質（ただ）し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は１人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。（１人１ページ）

なお、今議会の登壇議員は３人でした。

ページ	質問者（登壇順）	質　問　事　項
5	畑　　幸一	① 町公園の管理と機能について ② 行政の課題について ③ 婚活事業の取組と内容について ④ 農産物・食品に対するブランド化の推進と施策について ⑤ ＧＡＰ（農業生産工程管理）の対策と支援について
6	小林政次	① 重度心身障害者自動車燃料費助成事業について ② 重度心身障害者医療費助成事業制度について ③ 新地方公会計制度について
7	吉田孝司	① 防災・減災対策について ② 弱者対策について ③ 行政組織について

議会傍聴へおいで下さい

次回の９月定例会は、町の昨年度の決算の審議を行う重要な議会となります。
あなたの目や耳で確かめ、町政に参加しませんか。
傍聴の手続きは、役場庁舎２階の議会事務局事務室で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

○町公園の管理と機能について
　ふれあいの森公園の管理と周辺の環境整備について
○行政の課題について
　子供の貧困問題と実態について
　空家の現状と対応策の考えは
○婚活事業の取組と内容について
○農産物・食品に対するブランド化の推進と施策について
○Ｇ・Ａ・Ｐ（農業生産工程管理）の対策と支援について

畑　幸一議員

質問　ふれあいの森公園の管理と周辺の環境整備は、どうなっているか。

産業課長　利用再開の要望を受け、管理棟の新築、人口芝、アスレチック遊具の更新、コンビネーション遊具の新設を行い、平成26年再オープンしました。

公園の環境整備につきましては、今年度、福島森林再生事業を活用し、公園全体の間伐、更新伐、下刈、植栽等の森林整備の実施を予定しています。

質問　子供の貧困問題と実態はどうなっているか。

福祉こども課長　デフレ経済下での子育て世帯の所得の減少や、ひとり親世帯が増加する中で、給与水準の低い非正規労働者が増えたことで貧困世帯の割合は増えております。

ふれあいの森　コンビネーション遊具

質問　空家の現状と対応策の考えはあるのか。

総務課長　国勢調査の内容や各行政区の調査では、約百件程度把握しております。今後、空家等対策計画策定も含め、具体的な対策を進めて行きます。

質問　婚活事業の内容と取組はどうなっているか。

総務課長　今年度は、婚活事業として委託費約百三十万円を計上しております。内容は町の施設を活用しながら、気楽に参加できるものを検討しています。

質問　農産物・食品に対するブランド化の推進と施策についての考えはあるか。

総務課長　地域ブランドとして確立されると市場において様々な面で優位に立つことができます。町は、岩瀬キュウリのように産地として確立された農産物の維持発展のため、様々な助成を継続していくほか、新たな取組みについても農業普及所や農協等と調査研究していきたいと思います。また、鏡石ブランド米「牧場のしずく」についても町の特産品として、有効なものと考え、今後夢みなみ農協、鏡石米づくり部会とも活用について検討していきたいと考えております。

質問　ＧＡＰ（農業生産工程管理）の対策と支援について問う。

総務課長　町としては、国県の動向を注視し、普及所、ＪＡなどの関係機関と連携しながら、農業者へＧＡＰ制度の周知を図り、さらに、認定取得に向けた取組みを推進し、安全安心な農産物の生産に向けた取組みを図っていきたいと考えています。

鏡石ブランド米「牧場のしずく」